



町長エッセイ



異常気象による災害のニュースを今年ほど多く聞いた年はないような気がします。災害を予測することは困難であり、各家庭や事業所が、日頃から災害に備えておくことの必要性を感じています。

先日、県内の消防団がその技術を競う「埼玉県消防操法大会」に出席しました。消防団は火災等の非常時にいち早く駆けつけて、消火活動にあたるとともに、災害時には救護活動や避難誘導等の重要な役割を担っています。

各消防団は地域に密着した活動を続けています。小川町における消防団の歴史は古く、数々の功績がありますが、近年では、平成22年に比企支部操法大会で準優勝に輝いています。

また、その2年後には小川町で初めて女性消防団員が誕生しました。8名が入団して新しい一步を踏み出し、女性の「気配り」や「優しさ」を生かし、高齢者への防災訪問や応急手当の普及指導に取り組んでいると聞いています。今後の活躍を期待するところであります。